

マサキナガカイガラムシ

マサキに寄生する小さなカイガラムシ。長さ約1mmで細長く白い、または長さ約2mmで黒い胡麻粒形。主に葉裏に寄生するが、多発すると枝にも群生する。まれに庭などで夏に多発する。



1. 多発状況. 2001/8/1. 美唄市, ツルマサキ. 2. 幼虫. 1の拡大. 最大長1mm.

【学名】 *Unaspis euonymi*

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) , マルカイガラムシ科 (Diaspididae)

【分布】 北海道, 本州, 四国, 九州; 汎世界.

【文献】

1977. 奥野孝夫, 田中寛, 木村裕. 原色樹木病害虫図鑑. 保育社, 大阪. (形態, 生態, 防除の解説)

1980. 河合省三. 日本原色カイガラムシ図鑑. 全国農村教育協会, 東京. (分類, 形態, 寄主の解説)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

マサキナガカイガラムシ kaigara/masakina/kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/8/16.
higai.JPG, musu1.JPG

「写真1～2」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001.